

FLOSS とオープンイノベーション 人財戦略に基づく発展にむけて

2009年6月18日

三浦 広志

(株)NTT データ 基盤システム事業本部企画部 IT人材戦略担当課長： 1995年より Linux のユーザであり、カーネル(Cyrix 関連アーキテクチャ依存コードや APM/ACPI 関連)、ドライバ(Intel SpeedStep Technology driver, Panasonic note-pc Driver)、Samba(2.0.x-JP 開発)等に参加しています。(株)NTT データでオープンソースソフトウェア事業の立ち上げに関わり、(独)情報処理推進機構(IPA)の OSS センター発足時の研究員のほか、JOSSPF/OSDL/FSG/ISO/LF など各種委員をやってきました。

現在、日本 OSS 推進フォーラム 人材育成部会 部会長、北東アジア OSS 推進フォーラム WG 2 (人材育成)日本主査、および IPA オープンソフトウェアセンター 非常勤研究員/人材育成 WG 主査として、日本および東北アジア地域の OSS 教育カリキュラムの策定や活用を推進しているところです。

近頃は、FLOSS の開発に参加する方をどうやって増やしていくか、に興味を持っています。OSS カリキュラムの整備事業という形で、IPA において努力してきました。また経団連の高度 IT 人材育成の提言に賛同し、大学での授業に協力しました。これらの取り組みの中で、職業として取り組み、かつ楽しいところ、喜びを伝えていくのが大切だと感じています。

また、他方で、クラウドソーシングやオープンイノベーションを実現する仕掛けに興味をもっています。伝統的な SI 産業に身を置いています。外部イノベーションを取り込み自身のビジネスを発展させていくスキームが作りにくいことにフラストレーションを感じています。

Linux は、オープンイノベーションの成功事例だとして、一部に取り上げられています。日本で、オープンイノベーションは定着し得るのでしょうか。Linux と富士通・日立・NEC など組み合わせのほかに、FLOSS プロジェクトに参加して商業と共有地の中間で努力している日本企業は、本当にあるのでしょうか。

新しい取り組みとして、オープンストリートマッププロジェクトの日本チャプターを推進しています。クラウドソーシングを、フリーでかつ共有されたプロジェクトとして進めています。次のオープンイノベーションとしてビジネスに紹介しています。ビジネスにこのようなイノベーションを取り入れる素地や可能性はあるのでしょうか。

FLOSS とその人材育成では、OSS 利用者、OSS 利用開発者としての知識・スキルを身につけた技術者が、高度 IT 技術人財になるにはどうするか解が必要である。

その一つは、OJT として、スキルにあった骨のある仕事をアサインする。コミュニティによる教育に期待して、勉強会を組織して、事例共有、フィロソフィーを広げることである。また、阻害要因として、予算削減で、開発段階から教育しながら作らせられない。それもあるので、勉強会を推進しているが、一部企業の従業員、地方だったりすると、長時間労働で勉強会にも行けない、というのが。さらに、また、スキルがついていないと、トラブルシューティングに投入できない。同じ人がずっと、トラブルシューティングしているような現実がある。

人材の必要性については、何人必要というのを研究して言った方がいいだろう。たとえば、必要な IT 技術者：100万人くらい？ コンスタントにキープすべき人数を、(職種×レベル×人数のプラン)のような形で説明する。5万人くらいがコアであるなどの、数字をあげていくことである。

これから技術を習得していく人、地方ではたく若者たちにどのように伝えていくのかも課題である。技術のつたえかたとして便利だから、というだけではなく、フィロソフィーを含めて伝えていく。産業が無い中で、OSSで食べられる、ということを行うのは無責任である。

参考文献

イノベーションのジレンマ, クリステンセン, 翔泳社, 2001
Open Innovation, Henry Chesbrough, HBS Press, 2003
Open Standards, Open Source, and Open Innovation, Elliot Maxwell, innovations/summer 2006,p.119
「みんなの意見」は案外正しい, スロウィツキー, 角川書店, 2006
ウィキノミクス, ドン・タプスコット, ウィリアムズ, 日経 BP, 2007
クリエイティブクラスの世紀, リチャード・フロリダ, 2007
僕たちが考えるに, チャールズ・レッドビーター, エクスナレッジ, 2009/01
クラウドソーシング, ジェフ・ハウ, 早川書房, 2009/05